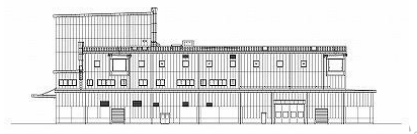


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観
建物名称	八代市環境センター マテリアルリサイクル推進施設棟	階数	地上 3F
建設地	八代市港町286の一部,287,298,299-1	構造	SRC造
用途地域	用途地域指定なし、一部工業専用地域	平均居住人員	24 人
気候区分	7地域	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	事務所,集会所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年5月10日
敷地面積	36,209 m ²	作成者	日立造船(株)中野裕二
建築面積	3,604 m ²	確認日	
延床面積	6,285 m ²	確認者	



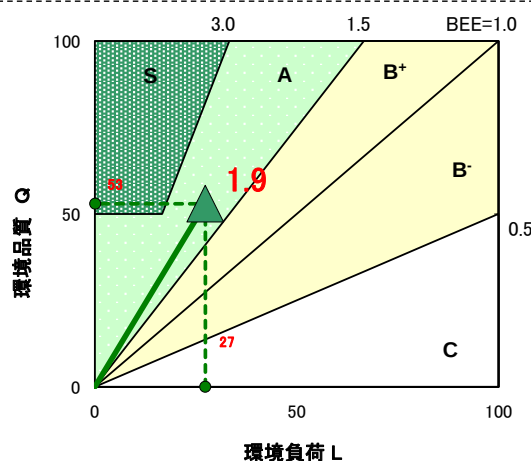
1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.9

$$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$$



■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

67%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

92

評価点

【重点事項1】温室効果ガス排出量削減の推進

107.0

【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現

85.0

【重点事項3】県の地域資源の有効活用と保全

80.0

【重点事項4】循環型社会の実現

83.2

■ 熊本県重点評価基準

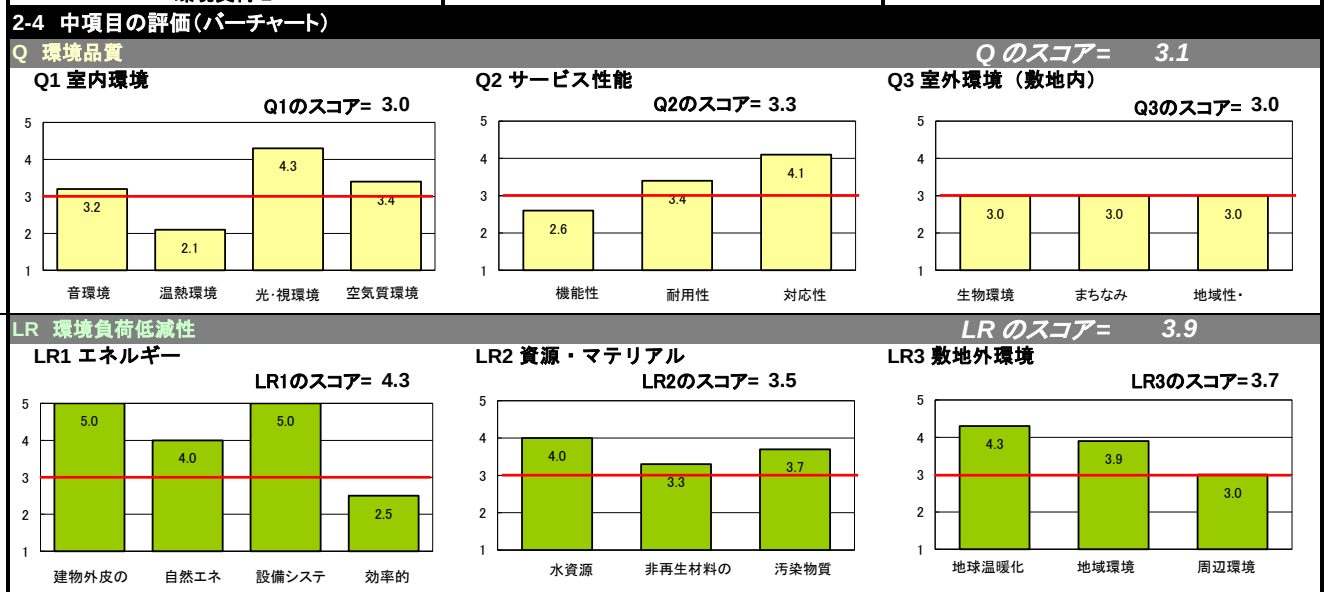
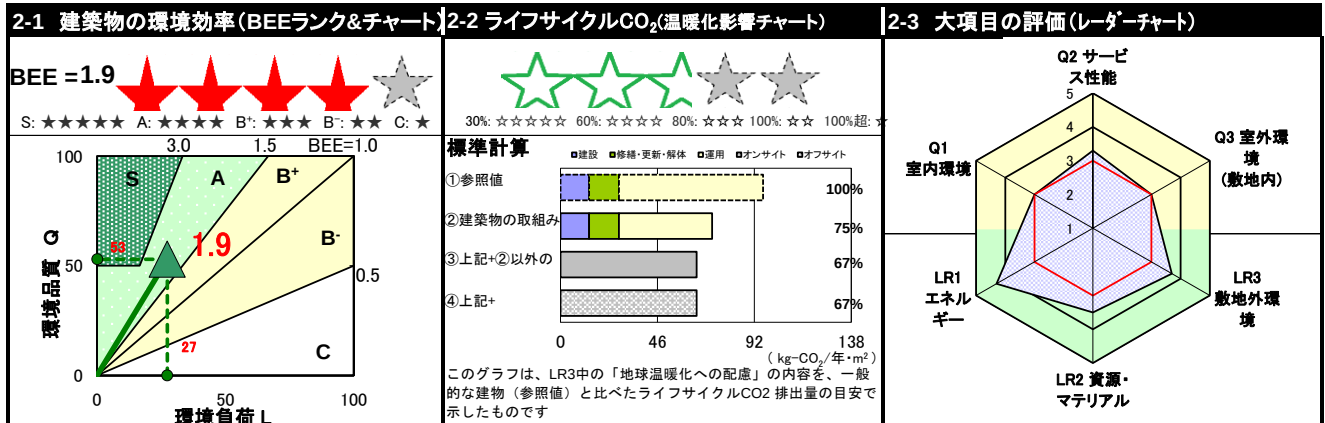
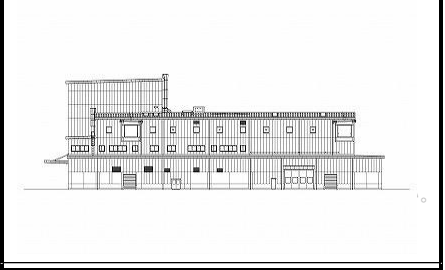
判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	八代市環境センター マテリアルリサイクル推進施設棟	階数	地上 3F
建設地	八代市港町286の一部,287,298,299	構造	SRC造
用途地域	用途地域指定なし、一部工業専用地域	平均居住人員	24 人
気候区分	7地域	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	事務所,集会所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年5月10日
敷地面積	36,209 m ²	作成者	日立造船(株)中野裕二
建築面積	3,604 m ²	確認日	
延床面積	6,285 m ²	確認者	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

建物の長寿命化と省エネルギー対策、地球温暖化防止に配慮している。

Q1 室内環境

断熱性能の高い外壁材の使用、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。

Q2 サービス性能

耐久性、補修性に優れた材料を使用するよう努めている。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地周囲に緑地を効果的に配置し、ヒートアイランド現象の緩和に寄与するよう配慮した。

LR1 エネルギー

LED照明の採用により、省エネルギーを図っている。エネルギー使用量の把握に努めている。

LR2 資源・マテリアル

節水器具により、節水を図っている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO2を削減し、地球温暖化防止を図っている。

その他

特になし

熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

八代市環境センター マテリアルリサイクル推進施設棟

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本市重点評価結果				総合評価点		92
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				107	0.40	42.80
Q1-2.1.2	外皮性能	4.0	0.11			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	4.0	0.07			
Q1-3.2.1	昼光制御	0.0	0.00			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.07			
LR1-2	自然エネルギー利用	4.0	0.21			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.32			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.11			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.11			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				85	0.20	17.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	4.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	4.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				80	0.20	16.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	4.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				83.2	0.20	16.64
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	4.1	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

CASBEE-建築(新築)2014年版
 八代市環境センター マテリアルリサイクル推進施設棟

欄に数値またはコメントを記入

 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.1
Q1 室内環境			0.34	-	-	3.0
1 音環境		3.2	0.17	-	-	3.2
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.5	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.71	-	-	
2 界壁遮音性能	D数の予測式より、D数=51.83	5.0	0.29	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.1	0.37	-	-	2.1
2.1 室温制御		3.2	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.40	-	-	
2 外皮性能	各外皮の面積加重平均=4.69	4.0	0.23	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		4.3	0.18	-	-	4.3
3.1 昼光利用		4.0	0.43	-	-	
1 昼光率		-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備	トップライトの採用	4.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	-	-	
3.3 照度	3階管理事務室 平均照度:950Lx	4.0	0.21	-	-	
3.4 照明制御	1スパン毎にリモコンで照明制御が出来る	5.0	0.36	-	-	
4 空気質環境		3.4	0.27	-	-	3.4
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能		-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		2.6	0.40	-	-	2.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.24	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.24	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.51	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.7	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		1.0	0.24	-	-	
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上	4.0	0.24	-	-	
3 内装計画		1.0	0.51	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30	-	-	3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.50	-	-	
1 耐震性	建築基準法の25%増しの耐震性	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	耐震クラスA	3.2	0.20			
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
	3	電気設備		3.0	0.20			
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
	5	通信・情報設備		4.0	0.20			
	5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性				4.1	0.30			4.1
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30			
1 階高のゆとり		<事>3.9m≦階高:4.0m <工>3.9m≦平均階高:4.50m	5.0	0.44				
2 空間の形状・自由さ			5.0	0.56				
3.2 荷重のゆとり				5.0	0.30			
3.3 設備の更新性				2.8	0.40			
1 空調配管の更新性			3.0	0.20				
2 給排水管の更新性			2.0	0.20				
3 電気配線の更新性			3.0	0.10				
4 通信配線の更新性			3.0	0.10				
5 設備機器の更新性			3.0	0.20				
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.36	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.695	5.0	0.08	-	5.0
2 自然エネルギー利用				トブライトの採用	4.0	0.11	-	4.0
3 設備システムの高効率化				BEI 非住宅 0.56 住宅(専有部) —	5.0	0.57	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		高効率照明器具の採用	5.0	1.00	-	-		
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-		
4 効率的運用				2.5	0.23	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-		
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制			2.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価			-	-	-	-		
4.1 モニタリング			-	-	-	-		
4.2 運用管理体制			-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				4.0	0.20	-	-	4.0
1.1 節水		節水コマ+省水型機器	4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用あり	4.0	0.70	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無		雑排水利用あり	4.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		— 再生クラッシュラン(路盤材)	3.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		ノンフロン断熱材の使用	3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-		
1 消火剤			-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)			5.0	0.50	-	-		
3 冷媒			3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境				—	0.30	-		-
1 地球温暖化への配慮				ライフサイクルCO2排出率:67%	4.3	0.33	-	4.3
2 地域環境への配慮					3.9	0.33	-	3.9
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用なし	5.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		合計ポイント:13ポイント	4.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減		駐車施設の確保、荷捌き用車両の駐車スペース、導入路への位置	3.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1 騒音			3.0	1.00	-	-		
2 振動			-	-	-	-		
3 悪臭			-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制		-	-	-	-			
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-			
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-		